

住友商事との資本業務提携に関するお知らせ

当社は、住友商事株式会社（以下、「住友商事」）を割当先の1社とする第三者割当増資を実施するとともに、業務提携を開始いたしました。

<当社の取り組み>

当社は、医療用アプリやブロックチェーンの医療応用についての各種特許を有し、技術に立脚したデジタル医療を推進する研究開発型企業です。不眠症治療用アプリを始めとする「医療用アプリ開発」「医療用アプリ開発のための汎用プラットフォームの提供」「臨床開発支援システムの提供」及び「AI自動解析システムの提供」による事業展開を行っております。

「医療用アプリ開発」においては、不眠症治療用アプリをはじめとするプログラム医療機器のシステム開発及び臨床開発を実施し、医療現場のアンメットニーズの解消に向けた新たな治療モダリティの開発を行っております。また、自社製品の開発の中で蓄積した知見を活用し、「医療用アプリ開発のための汎用プラットフォームの提供」として、製薬企業等に対しデジタル医療の開発を支援するためのプラットフォーム提供も行っております。

「臨床開発支援システム」の提供においては、治験・臨床研究を効率化するためにブロックチェーン技術等を活用したシステムを提供しており、製薬企業等における治験・臨床研究を支援しております。

<業務提携の意義>

住友商事は、100パーセント子会社の住商ファーマインターナショナルを通じて医薬品の研究、開発及び製造を支えるさまざまなサービスを提供するほか、米国において製薬事業に参画しています。今後、医薬ビジネスをデジタル領域へ拡大し、製薬事業も含めた事業展開を検討される中で、当社の技術力とノウハウ、および、将来性を高く評価していただき、当社との一連の協業および将来展開の可能性をより一層深耕する観点から、このたびの資本参加を決定していただきました。

住友商事と当社は、住友商事の総合力を生かして、当社が提供する医療用アプリ開発のための汎用プラットフォームの活用により日本国内での医療用アプリの普及・拡大を目指すこと、当社が保有する各種システムを基盤とした共同事業の検討を行うこと、当社が開発する医療用アプリ（※）の海外導出を含む多方面での協業について検討を行うことを合意しています。

※ 医療用アプリとは

医療用アプリとは、デジタル治療、デジタルセラピューティクスとも呼ばれるデジタル技術を用いた疾病の予防、診断・治療等の医療行為を行うソフトウェアで、当社では、不眠症治療用アプリをはじめ、複数の医療用アプリの開発、臨床試験を行っています。

また、当社の医療用アプリ開発のための汎用プラットフォームでは、服薬指導や処方管理、医療機関への訪問によらない医療データのやりとりなど、医療用アプリの特長を十分に発揮し、また医療用アプリに特有の課題を解決するためのさまざまな機能を実装しています。

<住友商事について>

名称： 住友商事株式会社
所在地： 東京都千代田区大手町二丁目3番2号
代表者： 代表取締役 社長執行役員 CEO 兵頭 誠之
設立： 1919年
会社URL： <https://www.sumitomocorp.com/ja/jp>

<本件に関するお問い合わせ先>
サスメド株式会社
E-mail: support@susmed.co.jp

以上